

IV 患者評価とアセスメント

IV-15. 投薬情報

大項目	中項目	カルテ・データ	フィジカル・スキル	レベル
□IV-15.1 投薬の基礎知識	□IV-15.1.1 持参薬から患者のもつ病態を予測できる	□持参薬の確認、病態の把握、併存症などについて確認できる	□持参薬の確認、病態の把握、併存症などについて確認できる	○
	□IV-15.1.2 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□処方薬から病態を予測できる	□処方薬から病態を予測できる	○
	□IV-15.1.3 投与経路について確認できる	□投与経路について確認できる	□投与経路について確認できる	○
	□IV-15.1.4 問題点を抽出できる	□薬剤情報より問題点を抽出できる	□使用薬剤より問題点を抽出できる	◇
	□IV-15.1.5 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□薬剤情報より離床のリスクを予測できる	□使用薬剤より患者の離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.1.6 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□薬剤情報より離床時の工夫と対処法を説明できる	□使用薬剤より患者の離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.2 強心薬・心不全治療薬	□IV-15.2.1 持参薬から患者のもつ病態を予測できる	□持参薬の状況について確認できる	□持参薬について確認できる	○
	□IV-15.2.2 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□処方薬から状況を予測できる	□処方薬について確認できる	○
	□IV-15.2.3 問題点を抽出できる	□問題点を抽出できる	□使用薬剤より問題点を抽出できる	◇
	□IV-15.2.4 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.2.5 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.3 降圧薬	□IV-15.3.1 持参薬から患者のもつ病態を予測できる	□持参薬の状況について確認できる	□持参薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.3.2 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□処方薬から病態を予測できる	□処方薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.3.3 問題点を抽出できる	□問題点を抽出できる	□情報より問題点を抽出できる	◇
	□IV-15.3.4 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.3.5 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.4 抗不整脈薬	□IV-15.4.1 持参薬から患者のもつ病態を予測できる	□持参薬の状況について確認できる	□持参薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.4.2 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□処方薬から病態を予測できる	□処方薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.4.3 問題点を抽出できる	□問題点を抽出できる	□情報より問題点を抽出できる	◇

大項目	中項目	カルテ・データ	フィジカル・スキル	レベル
	□IV-15.4.4 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.4.5 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.5 狭心薬	□IV-15.5.1 持参薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 持参薬の状況について確認できる	□ 持参薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.5.2 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 処方薬から病態を予測できる	□ 処方薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.5.3 問題点を抽出できる	□ 問題点を抽出できる	□ 情報より問題点を抽出できる	◇
	□IV-15.5.4 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.5.5 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.6 血管拡張薬	□IV-15.6.1 持参薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 持参薬の状況について確認できる	□ 持参薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.6.2 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 処方薬から病態を予測できる	□ 処方薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.6.3 問題点を抽出できる	□ 問題点を抽出できる	□ 情報より問題点を抽出できる	◇
	□IV-15.6.4 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.6.5 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.7 抗血小板・抗凝固薬	□IV-15.7.1 持参薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 持参薬の状況について確認できる	□ 持参薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.7.2 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 処方薬から病態を予測できる	□ 処方薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.7.3 問題点を抽出できる	□ 問題点を抽出できる	□ 情報より問題点を抽出できる	◇
	□IV-15.7.4 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.7.5 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.8 利尿薬	□IV-15.8.1 持参薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 持参薬の状況について確認できる	□ 持参薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.8.2 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 処方薬から病態を予測できる	□ 処方薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.8.3 問題点を抽出できる	□ 問題点を抽出できる	□ 情報より問題点を抽出できる	◇

大項目	中項目	カルテ・データ	フィジカル・スキル	レベル
	□IV-15.8.4 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.8.5 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.9 睡眠導入薬	□IV-15.9.1 持参薬から患者のもつ病態を予測できる	□持参薬の状況について確認できる	□持参薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.9.2 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□処方薬から病態を予測できる	□処方薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.9.3 問題点を抽出できる	□問題点を抽出できる	□情報より問題点を抽出できる	◇
	□IV-15.9.4 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.9.5 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.10 鎮静薬	□IV-15.10.1 持参薬から患者のもつ病態を予測できる	□持参薬の状況について確認できる	□持参薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.10.2 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□処方薬から病態を予測できる	□処方薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.10.3 問題点を抽出できる	□問題点を抽出できる	□情報より問題点を抽出できる	◇
	□IV-15.10.4 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.10.5 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.11 筋弛緩薬	□IV-15.11.1 持参薬から患者のもつ病態を予測できる	□持参薬の状況について確認できる	□持参薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.11.2 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□処方薬から病態を予測できる	□処方薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.11.3 問題点を抽出できる	□問題点を抽出できる	□情報より問題点を抽出できる	◇
	□IV-15.11.4 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.11.5 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.12 抗菌薬	□IV-15.12.1 持参薬から患者のもつ病態を予測できる	□持参薬の状況について確認できる	□持参薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.12.2 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□処方薬から病態を予測できる	□処方薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.12.3 問題点を抽出できる	□問題点を抽出できる	□情報より問題点を抽出できる	◇

大項目	中項目	カルテ・データ	フィジカル・スキル	レベル
	□IV-15.12.4 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.12.5 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.13 抗アレルギー薬	□IV-15.13.1 持参薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 持参薬の状況について確認できる	□ 持参薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.13.2 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 処方薬から病態を予測できる	□ 処方薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.13.3 問題点を抽出できる	□ 問題点を抽出できる	□ 情報より問題点を抽出できる	◇
	□IV-15.13.4 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.13.5 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.14 去痰・鎮咳薬	□IV-15.14.1 持参薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 持参薬の状況について確認できる	□ 持参薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.14.2 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 処方薬から病態を予測できる	□ 処方薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.14.3 問題点を抽出できる	□ 問題点を抽出できる	□ 情報より問題点を抽出できる	◇
	□IV-15.14.4 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.14.5 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.15 気管支拡張薬	□IV-15.15.1 持参薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 持参薬の状況について確認できる	□ 持参薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.15.2 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 処方薬から病態を予測できる	□ 処方薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.15.3 問題点を抽出できる	□ 問題点を抽出できる	□ 情報より問題点を抽出できる	◇
	□IV-15.15.4 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.15.5 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.16 血糖降下薬・インスリン製剤	□IV-15.16.1 持参薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 持参薬の状況について確認できる	□ 持参薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.16.2 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 処方薬から病態を予測できる	□ 処方薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.16.3 問題点を抽出できる	□ 問題点を抽出できる	□ 情報より問題点を抽出できる	◇

大項目	中項目	カルテ・データ	フィジカル・スキル	レベル
	□IV-15.16.4 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.16.5 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.17 消化性潰瘍治療薬	□IV-15.17.1 持参薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 持参薬の状況について確認できる	□ 持参薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.17.2 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 処方薬から病態を予測できる	□ 処方薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.17.3 問題点を抽出できる	□ 問題点を抽出できる	□ 情報より問題点を抽出できる	◇
	□IV-15.17.4 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.17.5 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.18 抗脳浮腫薬	□IV-15.18.1 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 処方薬から病態を予測できる	□ 処方薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.18.2 問題点を抽出できる	□ 問題点を抽出できる	□ 情報より問題点を抽出できる	◇
	□IV-15.18.3 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.18.4 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.19 血栓溶解薬	□IV-15.19.1 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 処方薬から病態を予測できる	□ 処方薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.19.2 問題点を抽出できる	□ 問題点を抽出できる	□ 情報より問題点を抽出できる	◇
	□IV-15.19.3 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.19.4 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.20 脳保護薬	□IV-15.20.1 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 処方薬から病態を予測できる	□ 処方薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.20.2 問題点を抽出できる	□ 問題点を抽出できる	□ 情報より問題点を抽出できる	◇
	□IV-15.20.3 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.20.4 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.21 抗てんかん・抗痙攣薬	□IV-15.21.1 持参薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 持参薬の状況について確認できる	□ 持参薬の状況について確認できる	○

大項目	中項目	カルテ・データ	フィジカル・スキル	レベル
	□IV-15.21.2 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 処方薬から病態を予測できる	□ 処方薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.21.3 問題点を抽出できる	□ 問題点を抽出できる	□ 情報より問題点を抽出できる	◇
	□IV-15.21.4 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.21.5 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.22 鎮痛薬	□IV-15.22.1 持参薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 持参薬の状況について確認できる	□ 持参薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.22.2 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 処方薬から病態を予測できる	□ 処方薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.22.3 問題点を抽出できる	□ 問題点を抽出できる	□ 情報より問題点を抽出できる	◇
	□IV-15.22.4 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-15.22.5 離床時の工夫と対処法	□ 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆
□IV-15.23 麻酔薬	□IV-15.23.1 処方薬から患者のもつ病態を予測できる	□ 処方薬から病態を予測できる	□ 処方薬の状況について確認できる	○
	□IV-15.23.2 問題点を抽出できる	□ 問題点を抽出できる	□ 情報より問題点を抽出できる	○
	□IV-15.23.3 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 薬剤の種類から離床のリスクを予測できる	□ 使用薬剤より患者における離床のリスクを予測できる	◇
	□IV-15.23.4 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 薬剤の種類から離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 使用薬剤より患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆

情報の統合

抽出された問題点
(P189にあるV章問題点抽出シートへも転記する)